

学習指導要領		スタンダード「基礎」
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>〔位置、方位、時差〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。 時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。 <p>〔地球儀、世界地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことと、そのため用途に応じて様々な図法の地図が作成されていることを知る。 <p>〔日本の位置と領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図などを活用して、日本の位置をとらえることができる。 我が国が当面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、我が国が正当に主張している立場を理解するとともに、国境のもつ意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを理解する。 <p>〔国家間の結び付き〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やEU、ASEAN、OPEC、WTOなど主要な組織とその役割を知る。 交通・通信や観光について、様々な交通手段や通信手段の特性を知るとともに、世界の観光の動向について知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>〔位置、方位、時差〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、東京の対蹠点の位置を理解するとともに、地軸の傾きによる季節変化や回帰線・極圏について理解する。 日付変更線やサマータイム制度について理解し、それらを含めた時差の計算ができる。 <p>〔地球儀、世界地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの図法の特徴を理解し、用途に応じて適切な図法を使用することができる。 <p>〔日本の位置と領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 国境には自然的国境や人為的国境があることを理解する。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の現状について歴史的経緯を踏まえて理解する。 <p>〔国家間の結び付き〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 主題図と統計を活用して加工貿易や垂直・水平貿易、国際分業などについて理解する。 年次の異なる主題図や統計を活用して交通の発達による地域の変容や観光による国際的な人々の結び付きについて理解する。 	<p>〔位置、方位、時差〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度の仕組みや地軸の傾きによる季節の変化の理由、回帰線・極圏の役割について、地球儀を活用して論理的に説明できる。 サマータイム制度が設けられた目的を説明できるとともに、航空機による移動などの諸要件を取り入れた複雑な時差の計算ができる。 <p>〔地球儀、世界地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> メルカトル図法やミラー図法、正距方位図法、ホモロサイン図法などの作成方法を理解し、その特徴と用途を説明できる。 <p>〔日本の位置と領域〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然的国境や人為的国境の特徴と具体的な例を挙げることができる。また、日本固有の領土である北方領土問題と竹島、尖閣諸島の近年の動向と我が国の主張の正当性について歴史的経緯を踏まえて説明できる。 <p>〔国家間の結び付き〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な国際組織について、その設立意義や現状と課題を理解する。また、FTAやTPPなど近年の世界貿易の動向について簡単に説明できる。 交通や通信の発達と経済活動のグローバル化により国家間の結び付きが深まっていることについて、年次の異なる主題図や統計を活用して説明できる。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>イ 世界の生活・文化の多様性</p> <p>世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p>	<p>〔自然環境と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、環太平洋造山帯やアルプス=ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。 世界や日本の主な地形の特色と人間生活との関わりについて知る。 世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯（冷帯）、寒帯の分布を知る。 <p>〔宗教、民族と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。 <p>〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。
<p>ウ 地球的課題の地理的考察</p> <p>環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	<p>〔地球的課題と解決に向けた取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が多く存在することを知る。 地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>〔自然環境と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭まるプレート境界に地震や火山が多いことを、その構造とともに理解する。また、広がる境界は海底に多く分布するが、アイスランドなど一部は地上で見られることを知る。 世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを理解できる。 大気の大循環やモンスーンについて理解するとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について理解する。 <p>〔宗教、民族と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の多くの地域で宗教は日常生活深くに根ざしていることを理解するとともに、民族と言語、宗教との関連を理解する。また、歴史的背景から一部に民族問題や地域紛争が存在することを知る。 <p>〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の生活・文化について、諸資料を活用して、地形、気候をとらえるとともに、歴史的背景を踏まえて宗教、民族、農業、工業、商業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けてとらえ、世界の多様性について理解する。また、異文化を理解し尊重することの重要性について理解する。 <p>〔地球的課題と解決に向けた取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な地球的課題について、それぞれの内容について世界的な視野から理解する。 地球的諸課題は、同じ原因であっても、自然環境や地域性の違いにより、地域によって現れ方が異なることを理解している。 	<p>〔自然環境と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> プレートテクトニクス理論によるプレートの移動の仕組みを理解し、三つのプレート境界における地殻変動について説明できる。 世界や日本の主な地形について、その成因や人間生活との関わりを説明できる。 大気の大循環の仕組みを説明できるとともに、ケッペンの気候区分の分布と特色、人々の生活について説明できる。また、「月平均気温・月降水量」のグラフなどからケッペンの気候区を判別できる。 <p>〔宗教、民族と人間生活〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界における主な民族問題や地域紛争について具体的な例を挙げた上で、その背景や現状について簡単に説明できる。 <p>〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の生活・文化の多様性について、自然環境とともに、歴史的背景を踏まえ、民族、宗教、産業、貿易、日本とのつながりなどと関連付けて説明できる。また、異文化を理解し尊重することの重要性について説明できる。 <p>〔地球的課題と解決に向けた取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な地球的諸課題について、それぞれの分布、現状、原因及び相互の関連性について、世界的視野から説明できる。 地球的課題は同じ原因であっても地域によって現れ方が異なることを、地形、気候、人口、産業などの違いから説明できる。

学習指導要領		スタンダード「基礎」
(2) 生活圏の諸課題の地理的考察	生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的諸課題の解決には各国の取組や国際協力が必要であることを知る。
	<p>ア 日常生活と結び付いた地図</p> <p>身の回りにおける様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災</p> <p>我が国の自然環境の特色と自然災害とのかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p>	<p>〔身の回りにおける地図の収集と地形図の読図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにおける様々な地図を知る。 ・地形図は地表の様子を描くために等高線と地図記号を用いていることを知る。 <p>〔主題図の作成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校から最寄り駅までの地図など、簡易な地図を描くことができる。また、地理情報システム(GIS)が様々な分野で活用されていることを知る。 <p>〔我が国の自然環境の特色と自然災害〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の自然環境の特色を理解し、過去に多くの自然災害が発生してきたことを知る。 <p>〔自然災害と防災〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の自然環境と過去に発生した自然災害について知るとともに、今後想定される自然災害の危険予測についてハザードマップが用意されていることを知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> ・地球的諸課題を解決する方向性について、その背景に南北問題が存在することを理解するとともに、地球的課題の解決に向けて、例えば日常生活において取り組むべき課題などを理解する。 <p>〔身の回りにおける地図の収集と地形図の読図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにおける様々な地図を収集し、その特徴を理解する。 ・地形図において、縮尺を用いて実際の距離や等高線から任意の地点間の標高差を求めたり、尾根と谷を見分けたりすることができる。土地利用と人間生活のかかわりを理解するとともに、同じ地域の新旧の地形図を比較することで、地域の変容を理解する。 <p>〔主題図の作成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップを活用することができる。地理情報システム(GIS)の活用例を理解する。 <p>〔我が国の自然環境の特色と自然災害〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の地形、気候の特色と過去に発生した主な自然災害について理解するとともに、過去の自然災害への対応について土地利用、集落の位置や家屋の形状などから理解する。 <p>〔自然災害と防災〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の自然環境について理解し、ハザードマップを読み取り、自然災害の危険性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的諸課題の解決について、各国の取組や世界全体で取り組む必要性を理解した上で、我が国がどのように取り組むべきかなど、国際社会における我が国の果たすべき役割を理解する。 <p>〔身の回りにおける地図の収集と地形図の読図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにおける様々な地図の特徴を説明し、用途に応じて適切な地図を活用することができる。 ・地形図を基に、土地利用や集落の位置などから地形と人間生活のかかわりを説明できる。また、新旧地形図の比較から地域の変容を説明できる。 <p>〔主題図の作成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の設定したテーマに沿って、土地利用図や階級区分図、図形表現図やイラストマップなどを作成することができる。また、地理情報システム(GIS)を用いた主題図をつくることことができる。 <p>〔我が国の自然環境の特色と自然災害〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の自然環境の特色を踏まえ、過去の自然災害について、原因、被害状況、対応について説明できる。 <p>〔自然災害と防災〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏で過去に発生した自然災害の記録やハザードマップなどから、想定される自然災害について理解し、自らの安全を守る対応を説明できる。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査</p> <p>生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>〔課題解決のための地域調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。 ・調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>〔課題解決のための地域調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の方法として直接現地で行う方法と学校の図書館などで文献や資料を利用する方法を理解する。 ・調査結果を、図表、地図などで表現する適切な方法を選択できる。 	<p>〔課題解決のための地域調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の課題を設定し、地形図の読図や文献資料の精読を行い、その上で現地での観察、見学、聞き取りなどの調査活動を行うことができる。 ・調査結果を分析し、まとめ、適切な図表や主題図などを用いて表現し、発表することができる。

教科：地 理 科目：地 理 A